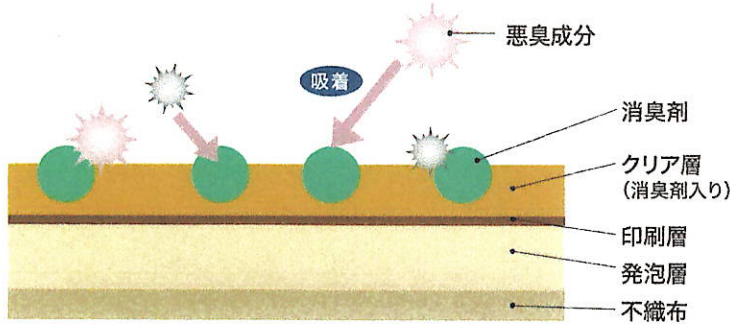


## 機能1 消臭機能つき

気になるニオイの成分を強力に吸着します。  
消臭剤が表層に練りこんであり、消臭性能が長持ちします。

### 消臭のメカニズム

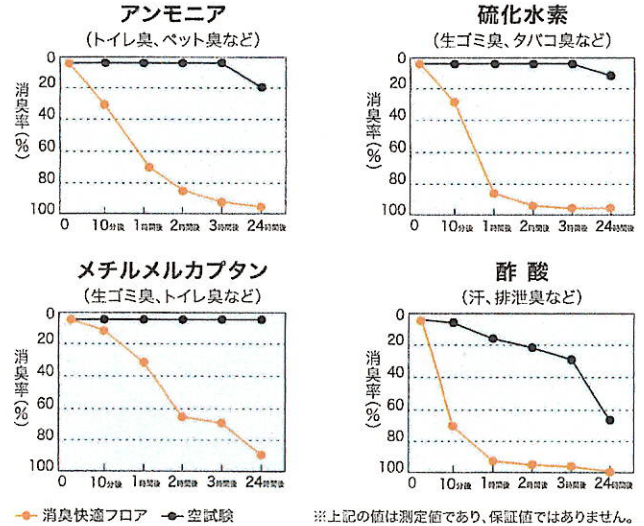


表面に加工している消臭剤が、臭気ガスとの化学反応による吸着をすることで、消臭効果が得られる仕組みになっています。

### ●消臭剤の安全性

加工薬剤の安全性は「SEK基準（一般社団法人 繊維評価技術協議会）」に準じて、経口毒性・変異原性・皮膚刺激性をテストし、「SEK基準」を上回る安全性が確認されています。

### 消臭試験



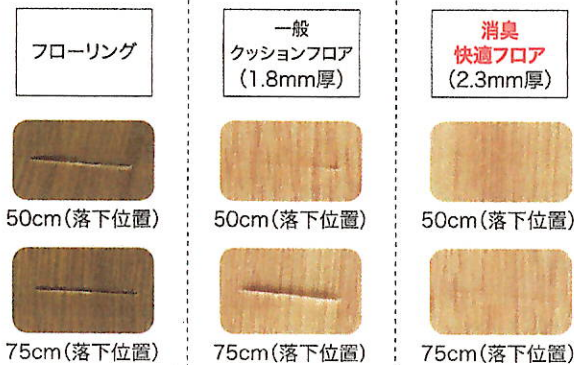
### 試験方法

- 210mm×160mmにカットしたサンプル2枚を裏面同士で貼り合わせて端面をアルミテープでシールして検体とした(消臭有効面積=600cm<sup>2</sup>)。
- 試験袋に検体1枚を入れ、空気3ℓを注入した。
- 試験ガスを注入し、所定の初期濃度とした。
- 10分、1時間、2時間、3時間、24時間後にガス濃度を検知管で測定した。
- サンプルを用いずに同様の評価を行い空試験とした。

## 機能2 キズがつきにくい

一般のクッションフロアよりも表面層を厚くしてありますので、ペットの爪によるひっかきキズなどがつきにくくなっています。

### 耐キズつき性試験



### 試験方法

200gの重りをつけた先端のとがった鉄板を、角度60°に取り付けた試験片に高さを変えて落下させ、キズのつき具合を確認した。

## 機能3 すべりにくい

消臭快適フロアはフローリングに比べてすべりにくく、適度なクッション性がペットの足や関節への負担を軽減します。

### すべり試験

商品名	ペットすべり(C.S.R・D)
消臭快適フロア (2.3mm厚)	0.360
一般クッションフロア (1.8mm厚)	0.354
一般フローリング	0.214

※上記の値は測定値であり、保証値ではありません。  
【数値の判断基準】すべり抵抗指数(C.S.R・D)が大きいほど、すべりにくいことを表しています。

### 試験方法

東京工業大学の小野研究室が人間の滑りを測定する目的で開発した携帯型滑り試験機(ONO-PPSM)を使用して、犬の肉球のやわらかさを模擬した発泡ゴムシートに毛の影響を模擬した麻織物をかぶせた滑り片に、荷重5kgfを載せ、斜め上18°の方向に引っ張った時に得られる最大引張り荷重を測定します。その値を載荷重量5kgfで除した値(C.S.R・D)を犬の滑り抵抗の評価指数としています。